

2024年度 組織定着化支援事業 シンポジウム

参加2年目の取り組みについて

地方独立行政法人 加古川市民病院機構
加古川中央市民病院
特定行為担当師長 中田 知廣

- ・ 病院概要
- ・ 研修の紹介、修了者の実践状況
- ・ 修了者の活動推進への取り組み
- ・ 共通科目の受講機会の提供
- ・ 今後の課題

加古川中央市民病院 概要

所在地：兵庫県加古川市（東播磨医療圏域）

病床数：600床

（ICU12床、HCU22床、NICU15床、GCU26床、PCU8床）

診療科目数：34診療科

<2023年度実績>

平均在院日数：9.8日 病床稼働率：87.2%

手術件数：8795/年 救急車受入件数：8762/年

1日あたり外来患者数：1484人 入院患者数：523人



当院の特定行為研修の紹介

開講の経緯

- | | |
|------------|--|
| 2018年度 12月 | 特定行為研修準備検討会にて開講準備開始 |
| 2020年度 4月 | 特定行為研修管理委員会の設置 |
| 10月 | 連携協力施設としての実習受け入れを開始 |
| 2022年度 4月 | <u>指定研修機関として特定行為研修の開講（5区分8行為）</u> |
| 2023年度 9月 | 循環器診療に関する5区分16行為を追加開講（10区分24行為）
（集中治療領域などで医師が活用しやすい行為に着目） |
| 2025年度 4月 | 2区分2行為を追加申請中(12区分26行為) |

当院の特定行為研修の紹介

5

開講状況

区分名 (定員12名)
呼吸器(気道確保に係るもの)関連
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連 ★
循環器関連
心嚢ドレーン管理関連
胸腔ドレーン管理関連
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連 ★
創傷管理関連
動脈血液ガス分析関連
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
循環動態に係る薬剤投与関連

★ 2025年4月開講予定

特定行為研修実績と修了者の配属先

研修実績

	当院受講生（追加取得含む）		実習協力	
	院内職員	院外職員	院内職員	院外職員
2020			2	
2022	4	3	1	1
2023	7	1	5	1
2024	6	0	3	0
計	17	4	11	2

修了者

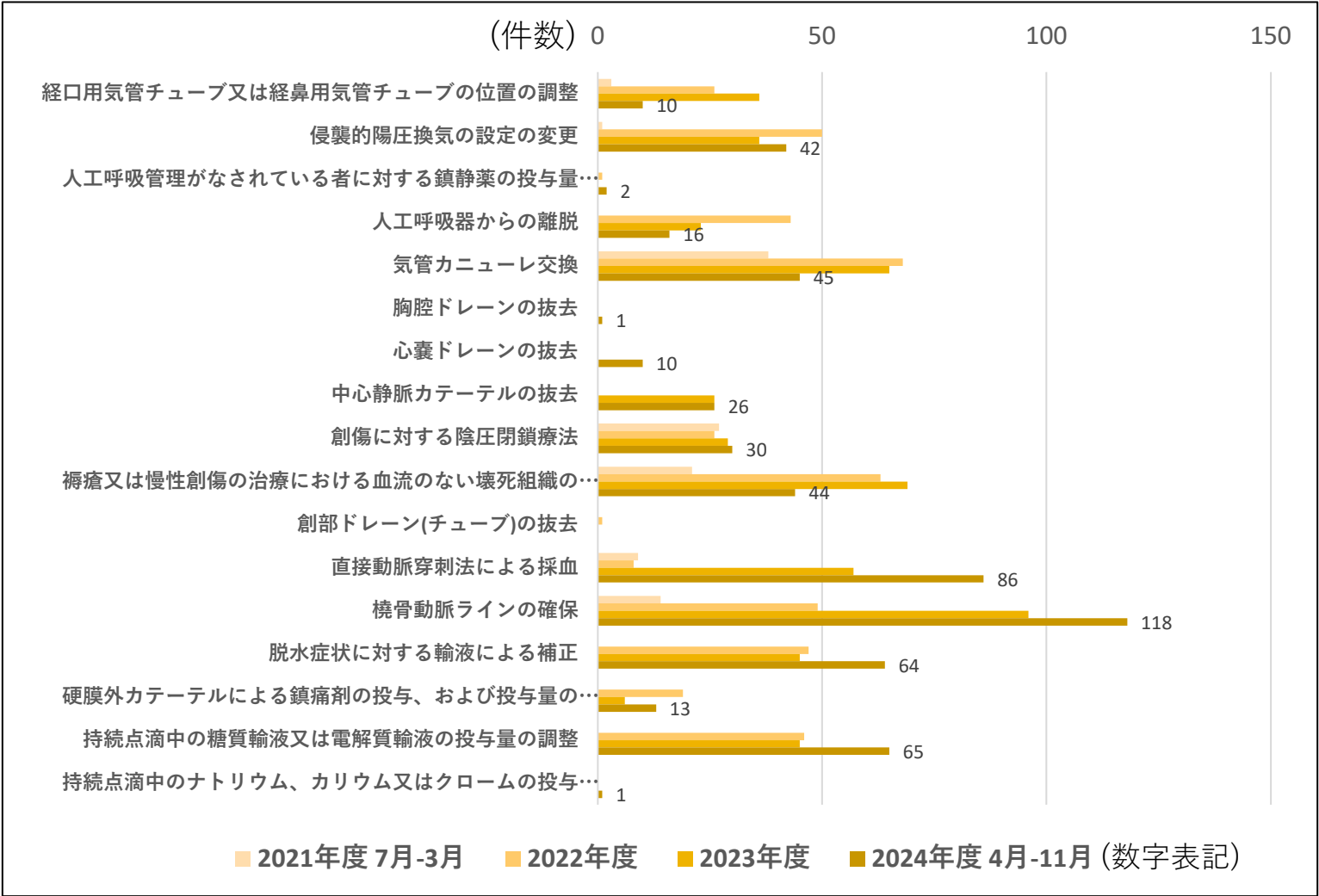
(2024年4月時点)

配属部署名	人数
ICU・HCU	8
外来(WOC・救急など)	4
看護実践支援室（WOC）	1
手術部	2
育休中	1
計	16

修了者の実践状況

年度	修了者人数	特定行為実施数
2021	2	113
2022	3	447
2023	6	533
2024	16	573 (11月末時点)
実施数合計		1666

増加率
63%



本事業への参加に通じた計画と現状の進捗

8

参加1年目

事業補助要件に関する取り組み

①修了者の活動推進の委員会設置

看護部会から特定行為実践管理委員会の変更
基盤となる活動運営体制を整備

②メンターの配置

担当師長と修了者メンターによる役割分担

③共通科目の受講機会の提供

クリニカルラダーへの研修組み入れ

参加2年目

持続可能な運営体制へ

修了者の活動に自律性を育む

領域別グループでの活動推進
安全と質の向上に関する活動

修了初年度および部署異動者のフォロー

受講終了の確認と組み入れ後の評価

修了者の活動推進への取り組み

9

要件① 特定行為実践管理委員会の設置（月1回）

運営体制の整備に関すること（1年目）

特定行為の安全な実施に向けた課題検討の場

特定行為マニュアルと手順書の作成、改訂

職務規程の見直し

実施記録の標準化

指示オーダー方法と電子カルテ画面の検討

周知活動：医師向け、看護師向け別の研修動画の作成

特定行為看護師用
ワッペン



ユニフォームの
右袖に明示

修了者の活動推進への取り組み

10

特定行為実践に関すること（2年目）

安全な実施をもとに、質向上につながる取り組みへ

目標管理(領域別グループ：重症、創傷、病棟・外来、麻酔)

特定行為の手順マニュアルの作成

実践内容と事例の共有

特定行為の記録監査（形式および質的）

フォローアップ研修会の開催

修了者の活動推進への取り組み

要件② メンターの設置

参加1年目

特定行為担当師長と修了者メンターによる役割分担

- 1) 担当師長：運営全体や修了者、医師への面談からの意見の調整
- 2) 修了者メンター：安全な行為実施の支援（対象範囲の判断や技術など）

参加2年目

修了初年度や部署異動となった修了者への活動支援

- 1) 実践に関する事前オリエンテーションを行い、マニュアルの理解を統一
(他指定研修機関と当院の受講者が同時に実践開始となる安全対策として)
- 2) 実践症例の割り振りを行い、技術レベルの評価と維持ができるよう支援

要件③ 共通科目の受講機会の提供

クリニカルラダーⅡ～Ⅴにおける研修としての組み入れ

経緯

1) 目指す看護師像の基礎となる知識の習得と捉えた

当院看護部スローガン Be Professional：プロフェッショナルであれ

2) 特定行為への理解と、研修受講へつながりやすくするため

履修免除規定あり

受講機会としては、全職員へID付与を行い、2023年9月より受講を開始した。

共通科目の受講機会の提供

13

○クリニカルラダーⅡ～Ⅴにおける研修としての組み入れ

研修計画

科目名	ラダーⅡ	ラダーⅢ	ラダーⅣ	ラダーⅤ
フィジカルアセスメント	○	○	○	○
臨床推論		○	○	○
臨床薬理学		○	○	○
臨床病態生理学			○	○
疾病・臨床病態概論			○	○
医療安全・特定行為実践				○

共通科目の受講機会の提供

14

ラダー取得要件

- ・ 各科目の全講義視聴が100%
- ・ 確認テスト80点以上（特定行為研修受験予定者は100点が必要）

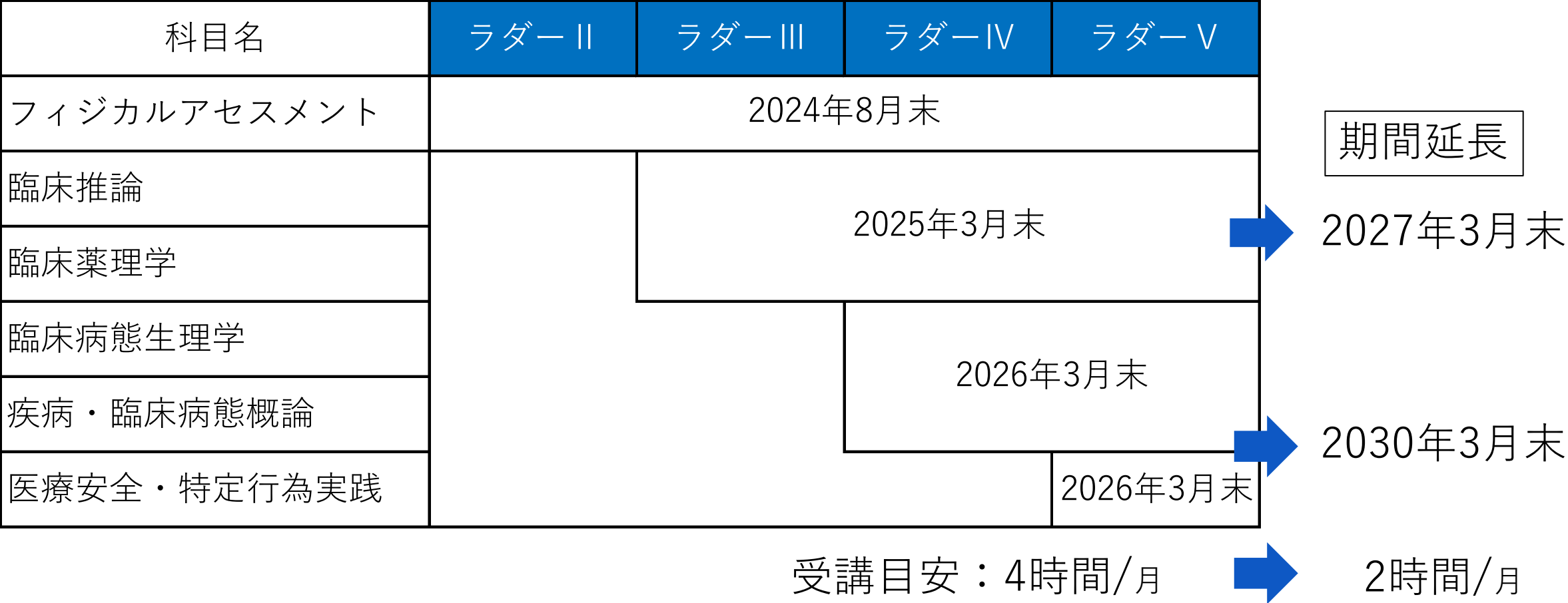
※ 履修免除は、2年以内の受講分を申請可

研修時間の扱い

- ・ ラダー研修と同様に自己研鑽とする（勤務時間内、在宅受講可）

共通科目の受講機会の提供

研修計画



共通科目の受講機会の提供

16

受講状況（2024年11月末時点）

フィジカルアセスメント(該当ラダー：Ⅱ～Ⅴ)

対象者：414人

受講完了率：96.6%（400/414人）

完了要件

- ・各科目の全講義視聴が100%
- ・確認テスト80点以上

共通科目の受講機会の提供

アンケート調査の実施

対象者：クリニカルラダーⅡ以上の看護師（N=414名）

方法：webによる匿名調査

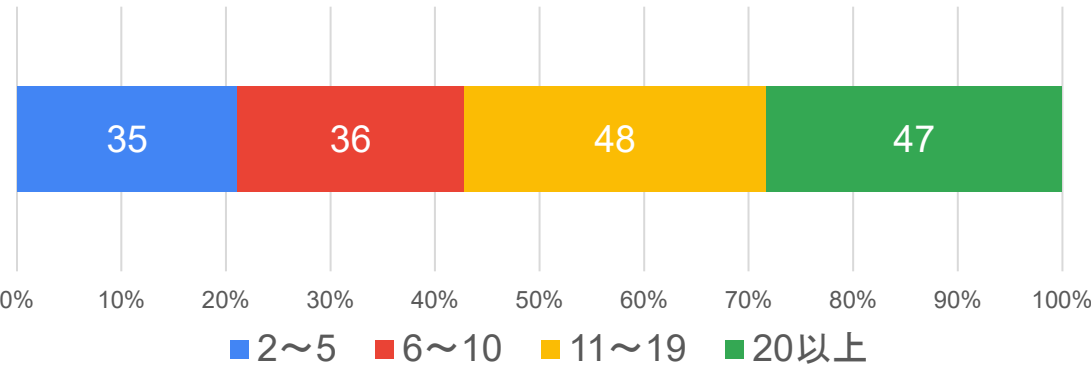
期間：2024年12月25日～2025年1月7日

アンケート結果

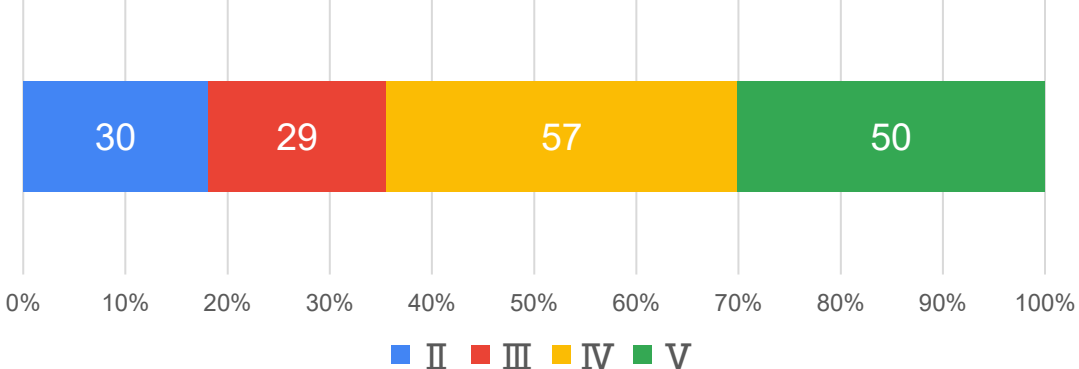
有効回答数(回答率)：166 (40.0%)

回答者の内訳

経験年数別割合



クリニカルラダー別割合

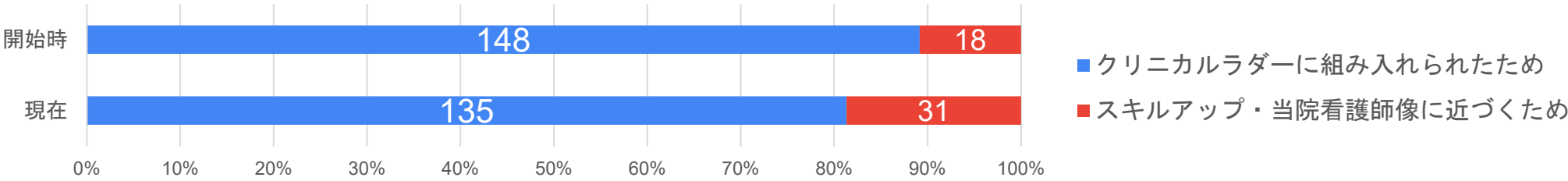


取得者全数：Ⅱ：62 Ⅲ：103 Ⅳ：157 Ⅴ：92

共通科目の受講機会の提供

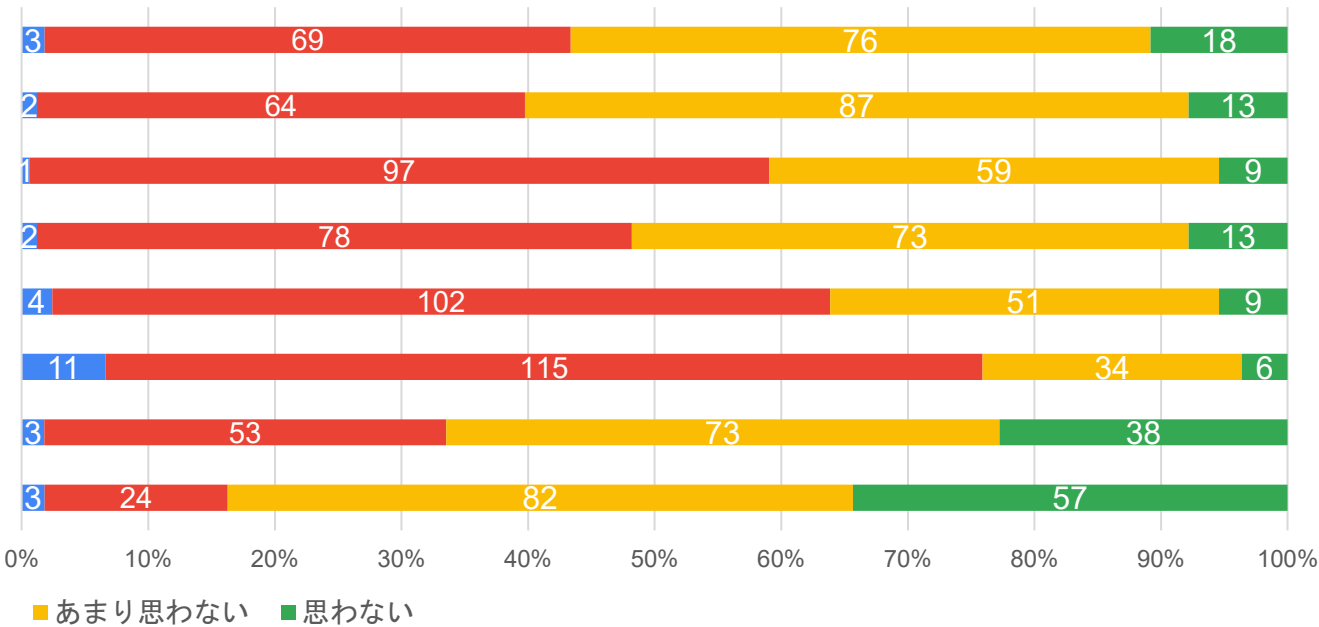
アンケート結果

受講した理由



受講した結果の感想・意見

- 1. 以前よりフィジカルアセスメント力が向上したように思いますか
- 2. 患者さんの急変が以前より予測できるようになったと思いますか
- 3. 患者さんのどこをどのように観察するのか、以前よりわかるようになったと思いますか
- 4. 研修で得られた知識を現場で活用していると思いますか
- 5. 根拠に基づいたフィジカルアセスメントの知識や技術を身につける上で、この研修は役にたったと思いますか
- 6. e-ラーニングの受講を通して、更に知識を得て、患者さんの看護をよりよいものにしたいと思いますか
- 7. e-ラーニングの受講により、特定行為看護師への興味・関心を持つことができたと思いますか
- 8. e-ラーニングの受講をしてみて、特定行為看護師を目指したいと思いましたか



アンケート結果（自由記述回答）

4.研修で得られた知識を現場で活用していると思いますか

[とても思う][思う]の回答者

- ・研修で学んだ具体的な知識を病棟でも活用できているから
- ・フィジカルアセスメントの方法を思い出し知識として定着させることができた
- ・今まで出来ていなかった部分の観察などするようになった
- ・採血データを見るときや事例の振り返りにすごく役立つ
- ・急変時などでアセスメントする時に活用できた

[あまり思わない][思わない]の回答者

- ・膨大な量を一回受講しただけではあまり覚えていないことが多い。
- ・見た時にはなるほどと思っていたが完全には覚えておらず、出来ているとは自信を持っていけない。
- ・時間が限られた中で実際したので、振り返る機会があればいいと思う。
- ・自部署に関わる分野がほとんどなかったから

アンケート結果（自由記述回答）

7.e-ラーニングの受講により、特定行為看護師への興味・関心を持つことができましたと思いますか

[とても思う][思う]の回答者

- ・ 特定行為を行う上で必要となる項目を知ることにつながった。
- ・ より高い知識と技術を持って患者さんに関わりたいと思う事が出来た
- ・ 勉強しているとなるほどと納得することが多く勉強になる
- ・ 看護師としてスキルアップしたいと考えている為
- ・ 今後特定行為をとりたいと思った

[あまり思わない][思わない]の回答者

- ・ 動画研修と現場での研修もあり、大変だと思ったから。
- ・ 内容が膨大なため
- ・ 責任が重いかなと思うから
- ・ 特定行為については理解できた
- ・ 資格取得までの必要はないと思った。

修了者の活動推進

修了行為のばらつきを平坦化、および技術レベルの維持・向上。

活用がされにくい行為への対応(PCPSやIABPの調整、循環動態に係る薬剤)

※医師の考え方や既存の具体的指示との調整

医師、看護師への特定行為に関する周知活動を継続していく。

特定行為による患者、組織への貢献内容を可視化する指標の設定

共通科目の受講機会の提供

アンケート結果をふまえた取り組み

関心をもった看護師を特定行為研修入講へつなげる

受講で得た知識と技術の定着化

急性期病院の卒後継続教育のあり方について検討を続ける
(学習意義の理解と負担とのバランス)

ご清聴ありがとうございました